メールマガジン
e-roken
イー・ロウケン
2017年
5月15日 現在
第308号まで
配信中
URL　http://www.roken.or.jp
＜登録･配信に関するお問い合わせ先＞　公益社団法人 全国老人保健施設協会事務局
TEL：03-3432-4165　E-mail：info@roken.or.jp

編集後記

以前勤めていた新聞社で、今春一挙に女性部長が４人誕生した。政治部、社会部、科学環境部、生活報道部である。執行役員も女性が１人増えて２人になった。喜ばしい限りだ。

私が現役で勤務していた時代、新聞記者という職種は男の仕事とみられていた。夜討ち朝駆けで勤務時間は不規則。月に数回の泊まり勤務も回ってくる。最終版の締め切りがすむと、宿直室の二段ベッドで仮眠、事件・事故が起きると飛び起きて最初に出動する部隊である。女性には無理な仕事だろう、と世間から思われていた。

政治部に所属していたとき、初めて女性記者が配属された。彼女はパイオニアとして意気込んでいた。夜討ち朝駆けも男性記者と伍して取り組んだ。ところが、数か月経つと、身体を壊して退社してしまった。本人が一番無念だったと思う。

新聞社の入社試験で、女性のほうが男性より成績優秀なことは業界の常識だ。成績順に採用すると、全員が女性になってしまう。「男性枠」を設けて、男女間の採用にバランスをとっている。それでもここ数年は女性記者の採用が男性を上回っている。取材力でも管理能力でも、男性を凌駕する女性が輩出している。

昨年、女性活躍推進法ができた。働きたくても働けない女性は300万人、第１子出産を機に６割の女性が退職する現実がある。育児後に再就職してもパート、アルバイトになる場合が多い。少子化による人口減少で労働力不足がくる。女性に、もっと多く、もっと長く、もっと高い能力を発揮して働いてほしい、というのが時代の要請だ。

女性が活躍する社会は平和である。女性の感性でつくる新聞も平和を守り抜くに違いない。

（近藤憲明）

月刊 全国老人保健施設協会機関誌
平成29年6月号（第28巻第3号 通巻263号）
定価1,000円（税・送料込）
（会員の購読料は会費に含まれる）
編集発行人―東 憲太郎　発行所―公益社団法人全国老人保健施設協会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル6階
Tel 03-3432-4165　Fax 03-3432-4172
info@roken.or.jp
http://www.roken.or.jp